

# NMR「パイプテクター®」実験結果報告：発芽比較試験

(活水試験)

日本システム企画株式会社

## 1. 試験目的

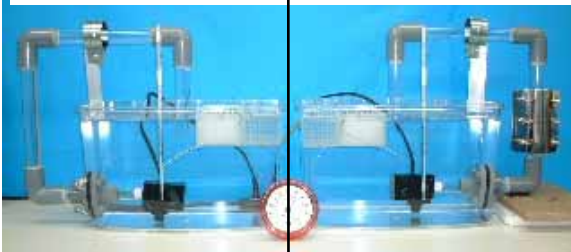
“NMRパイプテクター”によるNMR活水と水道水において植物（カイワレ大根、エン麦）の種子による発芽比較を行いました。

## 2. 試験方法

試験装置外観

左：なし

右：“NMRパイプテクター”有り



試験手順：写真の様に水槽を左右2個準備し、右側のみ“NMRパイプテクター”を装着した。水槽に水道水10Lをはり、循環させた。スポンジにカイワレ大根、エン麦の種を蒔き、毎日発芽状況を観察した。

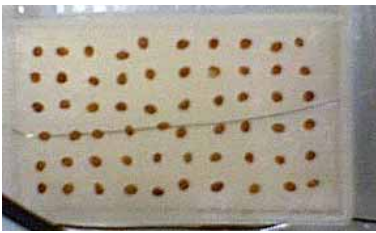
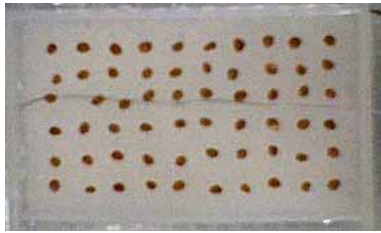
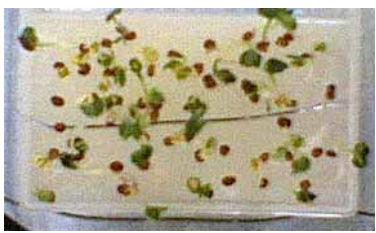
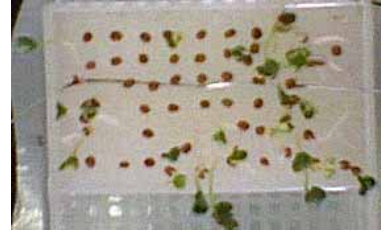


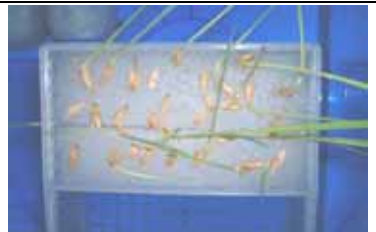

試験条件：循環ポンプ流量：5L/min

室温 17 ~ 25

水温 17 ~ 24

## 3. 結果

カイワレ大根とエン麦について発芽比較試験を行ったところ、カイワレ大根では3回の試験平均でNMR活水を用いた発芽率が83%に対し水道水は39%とNMR活水の方が約2倍発芽率が高く、エン麦についても1回の試験でNMR活水を用いた発芽率が81%に対し水道水は44%とNMR活水の方が約2倍発芽率が高かった事が確認できました。この事より“NMRパイプテクター”を通過し、水のクラスターが細分化された活水により各植物の種への浸透性が向上し発芽率がアップした事が実証されました。

試験結果写真（カイワレ大根）				
	“NMRパイプテクター”活水		水道水	
0日経過後		発芽数：0/60 発芽率：0%		発芽数：0/60 発芽率：0%
6日経過後		発芽数：53/60 発芽率：88%		発芽数：29/60 発芽率：48%
試験結果写真（エン麦）				
	“NMRパイプテクター”活水		水道水	
0日経過後		発芽数：0/27 発芽率：0%		発芽数：0/27 発芽率：0%
8日経過後		発芽数：22/27 発芽率：81%		発芽数：12/27 発芽率：44%